

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090101086		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム長野鶴賀七瀬		
所在地	長野県長野市大字鶴賀333-2		
自己評価作成日	令和3年7月21日	評価結果市町村受理日	令和3年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社
所在地	長野市松岡1丁目35番5号
訪問調査日	令和3年8月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自立支援介護を柱としたサービス提供を心掛けています。また、ケアプランに沿ったサービスを提供する事で、その方の望む生活の実現に向けて、入居者様に楽しみや役割を持っていただきながら支援させていただきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野駅にもほど近い旧市街の鶴賀地区、商業施設や住宅が点在する便利な環境の中に2020年4月1日に開設された当ホームがある。新型コロナウイルスの影響を受けながらも新たに船出をしたホームであるが、「『快適』『穏やか』な生活を常に支援します」という法人理念を支援の基とし、全職員が開設時に「意識した事、好きな言葉」等を要約し話し合っただけで決めた「入居者様の可能性に気づき、その力を引き出します」など、4項目からなる利用者の自立支援に重きを置いた独自の理念を日々の活動目標とし支援に取り組んでいる。新型コロナ禍という状況が開設以来続き本来の活動が出来ない状況が続いているが、利用者のマスク使用定着に最初に取り組み、天気の良い日にはホームの周りや近くの公園まで散歩をして体力低下を防ぐようにしている。そのような中、高齢ではあるが介護度2の利用者がおり、ケアプランの目標の一環としてウォーキングボールを用い、毎日室内を500メートルウォーキングすることを楽しみながら体力の維持に繋げている。そのおかげで様々な検査数値も良くなり健康を維持し食事も美味しく楽しい日々を送られている。この事例は法人内の「認知症ケア実践報告会」で紹介され、同じ法人の長野県内にある7ホームの中で「最優秀賞」を得、代表としてエリア大会で発表する予定であるという。また、自立支援の一環として居室ベットのシーツ交換を始め掃除機での居室掃除、洗濯機を使っての洗濯等、出来ることはやっていたり、保持している力を引き出し張り合いのある生活が送れるようにしている。新型コロナ禍ではあるがベテラン職員と新人職員が上手に融合し助け合い、前に進んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		